

令和5年度 第2回 運営推進会議録

日時：令和6年3月2日（土）14：00～15：00

場所：中心荘第二老人ホーム デイサービス室

出席：地域住民代表〇〇様、ご利用者〇〇様、ご利用者ご家族〇〇様、えびな北地域包括支援センター〇〇氏、中心荘第一・第二老人ホーム所長、通所介護課課長、通所担当相談員

欠席：海老名市社会福祉協議会〇〇氏

進行：通所担当相談員

記録：通所介護課課長

（1）活動状況の報告

通所担当相談員（以下、相談員）より資料に沿って、利用状況、職員配置、活動報告（コロナ対策の変更点、継続点）、デイの主な日課、活動内容を説明。

通所介護課課長（以下、課長）より補足説明。前回の内容に追加となったのが、午後の機能訓練（散歩・外気浴）を行っていること。

（2）デイサービスの宣伝活動について

- ・相談員より居宅へデイの空き状況の案内を週1～2回FAXしている。
- ・課長より、2月に市役所で行われていた海老名市内デイサービス展示会の説明。

- ・所長より、本日参加いただいているご利用者〇〇様の利用状況について質問あり。
 - 課長より、先月の調理レクでは恵方巻を作っていたが、写真にもあるように巻く作業を上手にされていた。
 - その他にも、座りながらできる運動として、バランスボールのボーリングを行っている。またご利用者〇〇様は体調にもよるが、短い距離ではあるが職員の付き添いで歩行練習、洗濯物たたみも行っている。
 - ご家族〇〇様より、家でも本人の気持ちがあれば、おしぼりを畳むこともある。

- ・えびな北地域包括〇〇氏（以下、包括〇〇氏）より、一日4回の検温の時間について質問あり。
 - 課長より、送迎時、昼食前、昼食後、帰る前の4回で、だいたい2時間おきの測定をしている。37.0℃以上でご家族へ連絡し、早退という

対応をしている。

→包括〇〇氏より、食後や活動していると 37.0℃を超えてしまうことも度々あるのではないかと。その度に連絡きたら、家族は大変ではないかと。

体温計の実測機能を利用して計測してはどうか。

→課長より、両脇で測定したり、時間をおいて計測するなどしている。

また平熱が高い方は主治医から体温の指示をいただいている方もいる。

→包括〇〇氏より、認知症の方は自覚症状がなく、訴えることもできないので、一日4回の検温は多いと思ったが、健康管理としては目安になってよいのかもしれない。職員の負担は多くなるかもしれないが。

→所長より、特養の方では、2月にクラスターが発生してしまったが、デイの方ではコロナの蔓延も防いでいる。体温の傾向も把握できていると考えている。

・包括〇〇氏より、空き状況の FAX をみて、入浴の人数について質問あり。

→課長より、定員は 12 名だが、入浴の定員は 7 名となっている。

午前みの時間帯のため。

→包括〇〇氏より、認知症の方は特に自宅で入浴介助ができなくて困っている方も多く、入浴目的で利用される方も多いのではないかと。

→ご家族〇〇様より、

自宅では浴槽の出入りが難しい。浴槽台を使用するなど工夫するが、本人が予測できない行動をしたり、立ち上がることができないこともあり、自宅での入浴は困難。デイで週 2 回入浴できて本当に助かっている。

→所長より、認知症対応の施設なので、自宅での入浴介助のコツなどご利用者へレクチャーできればよいがそこまでの対応は現在ではできていない。

→課長より、ご利用者〇〇様は座位式で対応しており、とても気持ちよさそうにされている。

(3) 評価・ご要望等

・地域住民代表〇〇様より、中心荘の入所人数について質問あり。

→所長より、第一で 50 名、第二で 50 名と 5 名が短期入所で約 100 名が定員。

→地域住民代表〇〇様より、施設に住所を移している入所者の割合はどのくらいか。

→所長より、半数くらいの方が施設に住所を移している。

→地域住民代表〇〇様より、上今泉 4 丁目には特養が 2 施設あるので、自治会加入率に影響がある。直接、施設に聞いていいものなのか分からないかと。

ら聞けなかった。

→所長より、どのようなことでもご連絡いただいても構わない。

- ・包括〇〇氏より、地域密着型通所介護なので、認知症カフェを開催してはどうか。市内では、扇町の小多機、中新田、門沢橋のソンプの家、東柏ヶ谷で月に1回または2か月に1回、認知症カフェを開催している。ちょうど上今泉の地域には無い。包括支援センターには認知症の相談が多くあり、ニーズはあるので、今後ぜひ検討していただきたい。

→所長より、今後は検討していきたい。必要な方に利用していただける施設にしていきたい。

令和6年度第1回デイサービス運営推進会議資料
 認知症対応型（予防）通所介護の運営状況

1. 利用状況

	利用人数	利用率
2022年度最終	7人（日あたり人数）	60%
2024年1月現在	7人（日あたり人数）	58%
2023年8月～2024年1月現在	7.8（日あたり人数）	65%

定員12名

2. 職員配置

- ① 正規介護職員 4名
- ② 運転担当職員 1名
- ③ 看護職員 1名（兼務：第一もしくは第二介護課の看護職員）
- ④ 生活相談員 1名

3. 活動報告

<新型コロナウイルス対策>

令和5年5月8日、5類感染症移行後中心荘としての対応

変更点

- ・職員は不織布マスクを着用→N95 医療用マスクを使用（感染者と接触があった場合、PCR検査を実施し、陰性ならば勤務）
- ・ご利用者様と同居されるご家族様には、健康チェック表を用いた体調観察
→ご利用者様のみ、利用当日の検温

継続点

- ・職員は出勤前に検温
- ・アルコール消毒液での手指消毒、物品は除菌剤で消毒。
- ・利用中、ご利用者様には一日4回の体温測定。
- ・送迎車内の座席表は、毎回記録させて頂く。
- ・デイルームと送迎車の常時換気。

<デイサービスでの主な日課>

8時～10時	1便～2便送迎車到着
9時～12時	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタル測定（入浴の可否を判断） ・生活リハビリへの参加 洗濯物たたみ等 ・各種プログラムへの参加 カレンダー塗り絵、脳トレ ・趣味活動 将棋・カラオケ・園芸等 ・入浴 ・嚥下体操
12時	昼食
13時	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタル測定 ・歯磨き ・リズム体操 ・回想法（音楽鑑賞、カラオケ、ドラマ等）
14時	運動プログラムへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ、ボーリング、パターゴルフ等 ・歩行機能訓練（外気浴、散歩）
15時	おやつ
15時30分	生活リハビリ <ul style="list-style-type: none"> ・たたみ物仕事 ・バイタル測定
16時～15時30分	一便～2便の送迎車出発

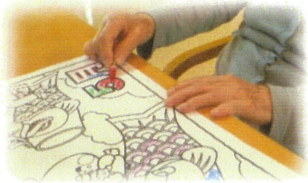
上表に関しては、大まかな流れとなっています。

それぞれの時間帯で活動して頂く中でも、ご利用者様一人一人の認知症状毎に支援させて頂いております。

認知症は個性であり、利用者様の視点を重視し、その認知症状を少しでも緩和できすように支援していきたいと思っております。



毎月のカレンダー作りと季節を感じさせるテーマに沿って様々な飾り作りと飾りつけを行っています。工作を通して、季節感を感じていただいています。



昨年から、新型コロナも少しずつ落ち着いてきたので調理レクリエーションを再開しています。先月には、恵方巻き作りを致しました。

午後からは、運動プログラムと歩行機能を維持するため散歩を積極的に進めています。



生活リハビリとして、洗濯物をたたむ活動を通して、できること実感していただいています。

